

令和7年度 厚沢部中学校学校経営グランドデザイン

【北海道
総合教育大綱】

【北海道
教育行政執行方針】



【学校教育目標】

【校訓】 拓 心

ふるさとを愛し、自ら学び、
たくましく生きる生徒の育成

【厚沢部町
教育重点目標】

こころ豊かに、
厚沢部町の
未来を拓く人を育む



【重点教育目標】 豊かな人間性と、自己効力感をもった生徒の育成

～自己効力感を高め、スルースキルと自己調整能力の獲得を育み、
生徒が楽しく過ごせる学校環境を実現する～

目指す生徒像 ～学校・地域に誇りと愛着を持ち、志のある生徒に～

目指す学校像 ～生徒・保護者・教職員が生き生きと活動し笑顔あふれる学校に～

目指す教師像 ～生徒に夢と感動と喜びを与える教師に～

経営課題解決に向けて

働き方改革の推進 ～意識と意義の共有と取組の見直し、校務DXの推進～

- ・改革の意識と意義を共有し、「生徒にとって有用なのか？」を基本に見直しを図る。
- ・ボトムアップの提案を積極的に図り、実行力のあるものとする。
- ・校務DX（ICT）を積極的に取り入れ、検証しながら積極的に推進する。

チームとしての学校の充実 ～教師の経営参画意識と生徒の帰属意識の醸成～

- ・積極的にミーティング（小会議）を設定し、密な情報共有を図る
- ・教育活動全般を通じて個別最適な配慮を心がけ、生徒の帰属意識を醸成する。

小中一貫教育の推進 ～義務教育学校を目指す連携の強化と生徒指導体制の確立～

- ・「厚沢部町義務教育学校設置に関する基本方針」に基づき、幼小との連携を強化する。
- ・学校教育活動全般を通じて、9年間を見越した、教育課程のあり方を意識し体制を確立する。

危機管理意識の醸成 ～危機に備える情報と生徒指導ノウハウの共有～

- ・シミュレーション型訓練等を積極的に導入し、実践的な対応力の向上を図り情報共有意識を確立する。
- ・取り組みの進捗状況の把握や検証体制を確立し、生徒指導のノウハウの共有を進める。

教育課題解決に向けて

学習指導の充実 ～個別最適で協働的な学びの充実とICT機器の活用～

- ・「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実を全教育活動を通じて行う。【把握手段を取り入れた授業設定】
- ・ICT機器の効果的で積極的な活用推進を行う。【生成AIの活用導入を図る】
- ・生徒が主体となり自ら探求できる業形態を目論む。【教員はファシリテーター（サポーター）を目指す】
- ・「課題解決を通して、思いを表現し、周りの意見に共感できる力」を伸ばす。【アウトプットをゴール】

学習・生活習慣の定着を目指す指導の充実 ～個々の生徒に応じた学習相談の充実～

- ・集団として学習に向かう（学習を必要とする）雰囲気造りを進める。
- ・個々の生徒の能力と特性に応じたきめ細かな学習相談の充実を進める。

キャリア教育の改善と充実 ～生き方指導の充実と外部資源・講師の積極的活用～

- ・体験を充実させ生き方指導や求められる資質の向上を狙う。
- ・外部資源及び講師の積極的活用を図る。【外部機関とのコミュニケーションを図る】
- ・修学旅行、宿泊研修等の機会を積極的に活用する。【発表活動の工夫を進める。従来の形式からの脱却】

不登校生徒への配慮と指導の充実 ～組織的対応と保護者・関係諸機関との連携～

- ・現状をスタートラインと捉え、対応の迅速化と組織的な対応を進める。
- ・対象生徒との共感を軸に、充実に向けて保護者との連携を通じて進める。
- ・関係諸機関との連絡連携を活用する。生徒指のノウハウの共有を進める。

特別支援教育の充実 ～個別最適な学習進路指導の充実と保護者との連携～

- ・個々の生徒の特性に応じた個別最適な学習進路指導の充実を進める。
- ・保護者との定期的な教育相談のを通じて安心共有感を基軸とした取り組みとする。
- ・幼（こども園）小との連携を推進する。

日本語指導が必要な生徒への支援の充実 ～日本語能力の向上とサポートの充実～

- ・個別の支援計画に基づく指導の推進を図る。
- ・生徒が日本語を用いて学校生活を営み、学習に取り組むことができることを目的として推進する。
- ・保護者との連携を強化する。

